FUJIFILM
Value from Innovation

大型センサー搭載の高画質中判ミラーレスデジタルカメラ「GFXシリーズ」の撮影領域を広げる!

交換レンズ「GFレンズ」の開発ロードマップを公開

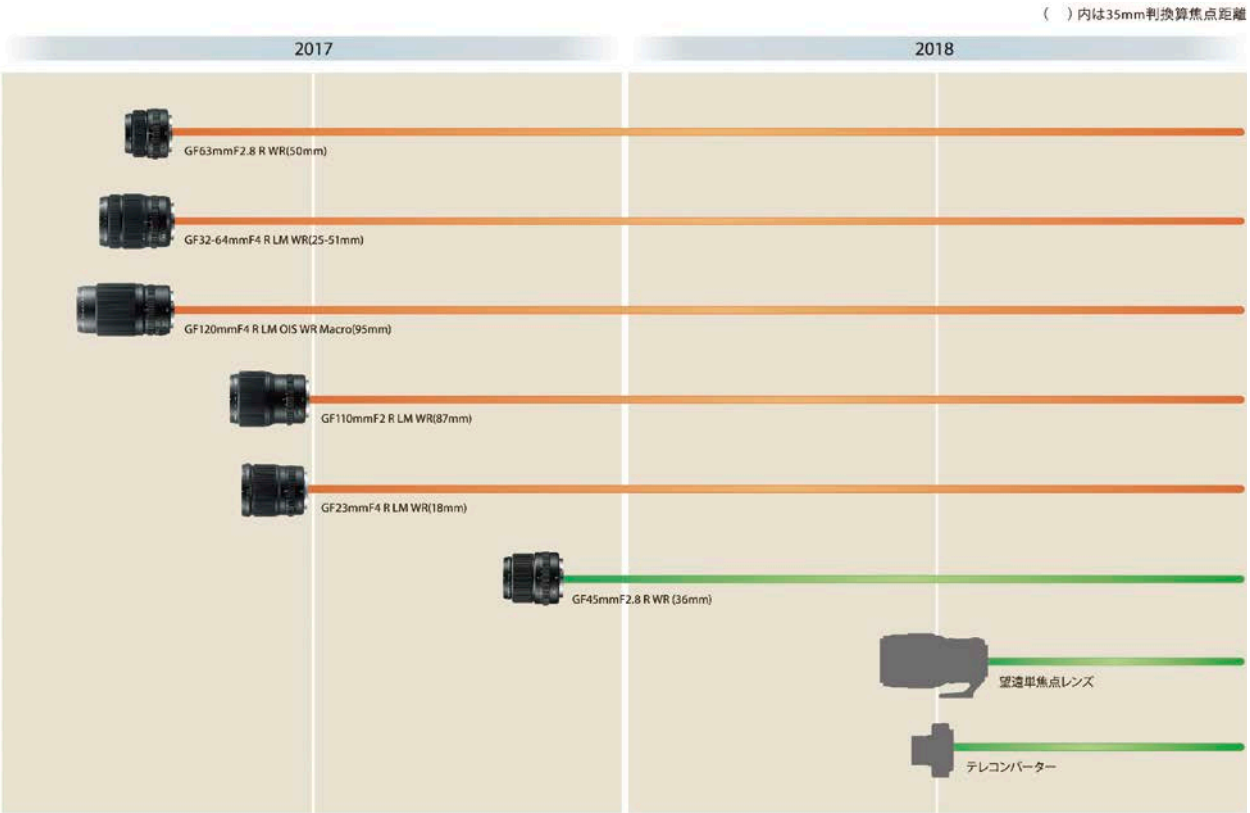
2017年4月19日

富士フイルム株式会社（社長：助野 健児）は、大型センサー（43.8×32.9mm）搭載の中判ミラーレスデジタルカメラ「GFX シリーズ」用交換レンズ「GF レンズ」の開発ロードマップを公開します。すでに開発・発売発表済みの6本に、今回、「望遠単焦点レンズ」と主レンズの焦点距離を拡大する「テレコンバーター」の2本を新たに追加しました。

なお、本日、「フジノンレンズ GF110mmF2 R LM WR」と「フジノンレンズ GF23mmF4 R LM WR」を発売発表しました。

「GFX シリーズ」は、「GF レンズ」との組み合わせで、35mm フルサイズセンサーの約 1.7 倍の中判サイズセンサーならではの解像力や階調再現性、富士フイルム独自の色再現による世界最高峰の写真画質を実現します。シリーズ第一弾である「FUJIFILM GFX 50S」は本年2月の発売以降、プロ写真家や写真愛好家を中心に、高い評価をいただいています。

今回、望遠領域をカバーするために「望遠単焦点レンズ」と「テレコンバーター」を新たに開発します。計8本の「GF レンズ」のラインアップで撮影領域をさらに広げ、「GFX シリーズ」で撮影する悦びを提供していきます。



※「テレコンバーター」は、「望遠単焦点レンズ」に対応しています。

富士フイルム株式会社　〒107-0052　東京都港区赤坂9-7-3

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

＜報道関係＞コーポレートコミュニケーション部　**TEL 03-6271-2000**
＜お客様＞富士フイルム FinePix サポートセンター　**TEL 050-3786-1060**
「フジノン GF レンズ」スペシャルコンテンツ　**http://fujifilm-x.com/lenses/**